

# 多重・分散型国土軸の形成と 災害時のリダンダンシーの確保について

【担当省庁】国土交通省

太平洋側に一軸・一極集中した脆弱な国土構造を是正し、災害に強い安心・安全な国土づくりと国際競争力のある広域的な地域経済の構築を図り、高速道路のミッシングリンクを解消するため、以下のとおり要望いたします。

## 1 「京都縦貫自動車道」を平成 26 年度までに全線完成

○ 国土のリダンダンシーの観点から安全性の向上を図るとともに、地域経済の活性化を実現するため、日本海国土軸と太平洋国土軸を連結する「京都縦貫自動車道」を早期に全線完成していただきたい。

- ・ 京都第二外環状道路（沓掛IC～大山崎JCT）（平成 24 年度完成）
- ・ 丹波綾部道路（京丹波わちIC～丹波IC）（平成 26 年度完成）

## 2 「山陰近畿自動車道」（鳥取豊岡宮津自動車道）を直轄国道（指定区間）として指定

○ 「全国的な自動車交通網を構成する道路」にもかかわらず、全国で当路線だけが指定区間から漏れているが、日本海国土軸の形成のためには必要な路線であり、まず早急に指定区間に指定し、ミッシングリンクの解消をお願いしたい。

○ 大宮森本 I C～網野 I C（13 k m）を国により早期事業化をすとともに、網野 I C以西を調査区間に指定していただきたい。

## 3 「新名神高速道路」と直轄国道の一体整備

○ 新名神高速道路と一体整備される国道 24 号寺田拡幅事業に着手していただきたい。

○ 新名神高速道路と学研都市を結ぶとともに、木津川右岸地域の救援・輸送を行う危機管理上重要な地域高規格道路である宇治木津線を国道 24 号の代替路線として計画路線へ指定していただきたい。

※国道 24 号は、木津川堤防上にあるが、全国堤防点検（国土交通省）では、洪水時に堤防が崩れる危険性を指摘

<国土交通省の概算要求>

◎全国ミッシングリンクの整備（3, 995億円）うち重点要求（1, 475億円）

（平成 24 年 9 月概算要求ベース）

地域経済・産業の強化を図るとともに、災害に強い広域ネットワークを構築するため、民間の技術力を活用しつつ、主要都市間等を連絡する高規格幹線道路等の整備を推進する。

**京都府の現状・課題等**

路 線 名			要 望 内 容
高規格幹線 道路	京都縦貫自動車道	京都第二外環状道路	沓掛 IC ～大山崎 JCT の事業促進 (平成 24 年度完成)
		丹波綾部道路	京丹波わち IC ～丹波 IC の事業促進 (平成 26 年度完成)
	新名神高速道路	城陽・八幡間	事業促進 (平成 28 年度完成)
		大津・城陽間	事業促進 (平成 35 年度完成)
		八幡・高槻間	事業促進 (平成 35 年度完成)
	地域高規格 道路	山陰近畿自動車道 (鳥取豊岡宮津自動車道)	野田川大宮道路
大宮・網野間			国による早期事業化
網野以西			調査区間へ指定
宇治木津線		城陽・木津間	計画路線へ指定

【京都府の担当部局】

建設交通部      道路計画課      075-414-5246